



高島藤樹会

(題字は、竹脇曇卿先生によるものです)

発行
NPO法人 高島藤樹会

〒520-1224
滋賀県高島市安曇川町上小川 225-1
藤樹書院・良知館内
電話・FAX 0740 (32) 4156
<http://takashima-tojukai.com/>

藤樹先生に関わって

高島藤樹会 会長 淵田 豊朗



「スタンディング
グオンザショ
ルダードーズオブ
ジャイアンツ」
日本の五百円硬

貨とよく似た英国の2ポンド硬貨の側面にある刻印です。現在があるのは先人たちのお蔭であるという意味だと思っています。

令和六年度総会で歴史ある高島藤樹会の会長を拝命いたしました淵田豊朗と申します。これまで高島藤樹会の会長は上田藤市郎さん、川越清司さん、田中清行さんが務められてきました。高島藤樹会は、多くの会員の皆様、役員それをまとめてこられた歴代の会長さん方も含めての多くのジャイアント・巨人があつて、今があり、これからがあると思いがら重責を引き受けました。会員の皆様には、これまでとかわらないご支援とご協力をお願いします。

私は一年ほど前から、藤樹書院で来訪される皆様に説明をする仲間の一人として月に何回か担当させていただいております。様々な年齢、それこそ子ども園の子ども達から高齢

者まで、さまざまな知識や考え方や立場の方がみえます。藤樹書院の歴史や藤樹先生の年譜など通り一遍の説明はできませんが、例えば「朱子学」と陽明学の違いは？」と問われて、「朱子学は『性即理』で陽明学は『心即理』です」と答えても、「『性』とは？」「理』とは？」と聞かれると戸惑ってしまいます。特に短時間でわかりやすく説明するのは大変難しいことです。自分の持っているものの30%くらいなら、希望された時間内で、希望された内容の説明が冷静な状態で可能ですが、そうでないと難しいということをもつて体験する日々です。

高島藤樹会のビジョンは「温かくて深い、近江聖人中江藤樹の『孝』の思想を高島から全滋賀へ、全国へ、全世界へ広める」です。それを維持し、企画広報、思想普及、心のセミナー、表彰の事業もこれまで通り続けてまいりたいと思います。「思想」という単語は、いろいろな捉え方があり難しいものです。藤樹先生を含めて私たちの多くの考え方の基礎となっているのは、東洋思想、その中の中国のものがすぐに思いつきます。日本には神道もあります。中国から伝来した日本独自の佛教もありますが、もとをたどっていくとユダ

ヤ思想、イスラーム思想、インド思想にも関連します。

私は、最近NHKラジオらじるらじるで、弘前大学教授山田史生さんが講師をつとめられたカルチャー・ジオ文学の世界「『老子』を味わう」13回のシリーズを興味深く聞きました。もう少し勉強してみようと思ひ、「哲学として読む老子」を読みました。新しいことを知ることは楽しいことです。

藤樹先生の場合は朱子学から陽明学に移られたのは、朱子学だけではなくもつと他にもあるだろうという受け入れのゆとり、さらに良いものを求めようとする姿勢があつたからだと思っています。高島藤樹会はそのいった藤樹先生の生き方や考え方はもちろん大切にしながら、藤樹先生を入り口に、いろいろな考え方に興味をもち、それぞれの考え方の善いとところを学べる会であつてほしいし、自分の考えを遠慮することなく言え、人の意見を謙虚に聴き交流でき、今抱えている課題の解決や今後のより良い生き方へのヒントが得られる、そして、これからのさらなる高齢化社会に向けての生涯学習の場になつていけばと思います。まだまだ勉強途中ですが、皆様のご指導をよろしく願ひします。